



南笠東学区の健康かるて（令和7年度版）

【令和7年12月作成】草津市人とくらしのサポートセンター 地区担当保健師



1.人口構成と世帯数（R7.4.30）※市と比較して区分割合が高い項目に着色

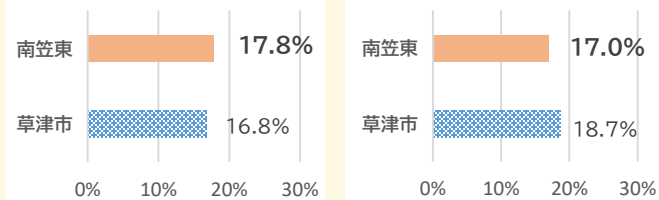
年齢区分	0～14歳		15～64歳		65歳以上		計(人数)	世帯数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
志津	2,482	17.4%	9,318	65.1%	2,505	17.5%	14,305	6,323
志津南	1,275	18.7%	4,012	58.9%	1,527	22.4%	6,814	2,585
草津	1,630	13.6%	7,604	63.4%	2,752	23.0%	11,986	5,817
大路	1,498	12.5%	8,043	67.1%	2,438	20.4%	11,979	5,748
矢倉	1,143	12.0%	6,107	64.0%	2,286	24.0%	9,536	4,489
渋川	1,283	13.4%	6,491	67.6%	1,827	19.0%	9,601	4,625
老上西	1,406	16.1%	5,471	62.7%	1,855	21.2%	8,732	3,467
老上	2,603	20.1%	8,258	63.7%	2,103	16.2%	12,964	5,823
玉川	1,307	10.5%	8,765	70.5%	2,354	18.9%	12,426	6,793
南笠東	735	9.5%	5,128	66.6%	1,836	23.8%	7,699	4,192
山田	929	11.9%	4,492	57.6%	2,380	30.5%	7,801	3,530
笠縫	1,546	13.8%	6,295	56.3%	3,337	29.9%	11,178	4,963
笠縫東	1,593	14.6%	6,466	59.4%	2,827	26.0%	10,886	4,916
常盤	642	13.3%	2,642	54.7%	1,549	32.1%	4,833	1,913
草津市	20,072	14.3%	89,092	63.3%	31,576	22.4%	140,740	65,184

4.高齢者の状況

（※③は、40～64歳の第2号被保険者も含む）

①単身高齢者の割合（R7.4）

②介護認定率（R7.4）



③介護が必要となった原因で最も多い疾患（R1～R2新規申請者）

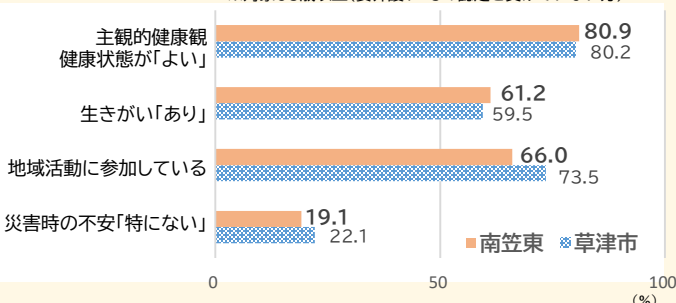
【要支援認定となった人】
骨折

【要介護認定となった人】
脳梗塞



④介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果（R4年度）

※対象65歳以上（要介護1～5の認定を受けていない方）

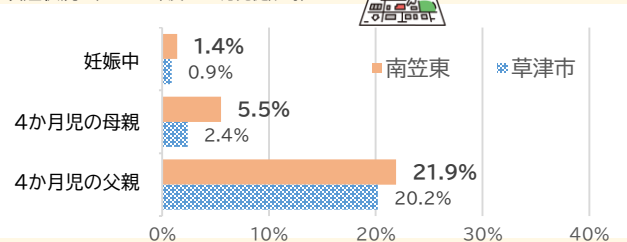


2.妊娠・出産・子育て（乳幼児健診問診結果）

①育児に対する今の気持ちに近いフェイススケールの割合（R6年度）

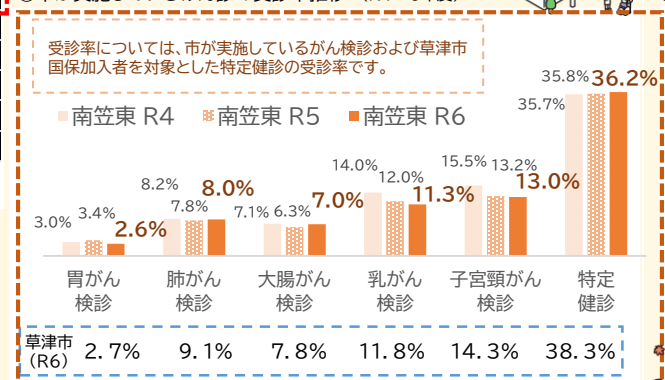
フェイススケール		1	2	3	4	5	6
1歳6か月児	南笠東	44.2%	34.9%	20.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	草津市	52.4%	30.4%	14.3%	1.4%	1.1%	0.3%
4か月児	南笠東	69.8%	25.6%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	草津市	65.1%	26.7%	6.7%	0.1%	0.3%	0.2%

②喫煙状況（R5～6年度：4か月児健診時）

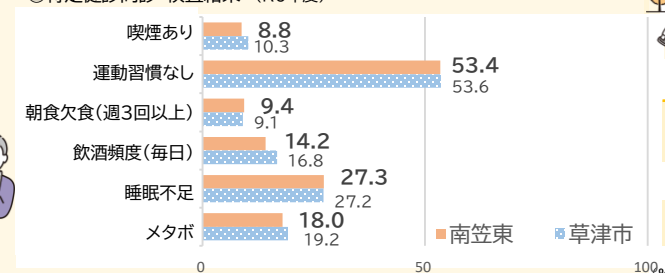


3.からだの健康・生活習慣

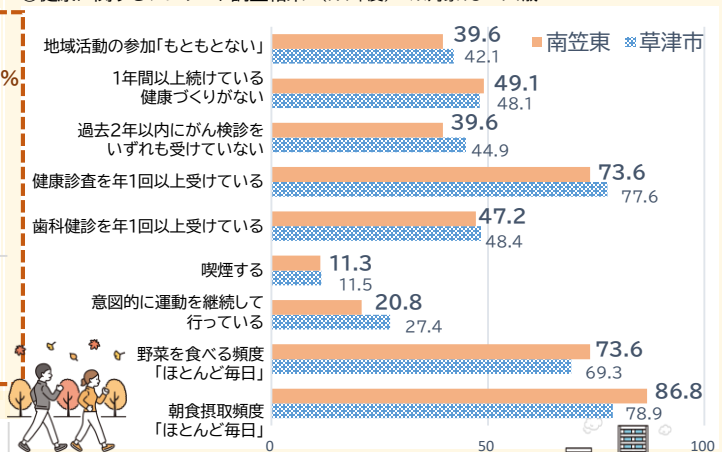
①市が実施しているけん診の受診率推移（R4～6年度）



②特定健診問診・検査結果（R6年度）



③健康に関するアンケート調査結果（R4年度）※対象18～74歳



5.地域資源（地区組織活動・社会資源等）

子育てサークル・ 拠点施設	1か所	スーパー	0か所
地域サロン	4か所	コンビニ	5か所
医療機関	医師:1か所 歯科:0か所	ドラッグストア	0か所
薬局	4か所	町内会	7

地域の目指す姿（目標）：南笠東学区の住民が、自らの健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりに取り組むことができる

地域の特性と健康課題

・こどもの数が年々減少しており、年少人口（0～14歳）の割合は市内で最も低いです。
 ・学区内に医療機関や商業施設が少なく、「車がないと通院や買い物がしづらい」との声があります。また、山手側は坂が多く高低差があり、高齢になると外出の機会が減り、身体を動かすことや人と交流する機会が減りやすいと考えます。フレイル予防や介護予防について理解し、早期から取り組む必要があります。
 ・けん診受診率について、全体的に市と比較して低く、特に特定健診の受診率については、年々上昇しているものの、市と比較して低い状況が続いています。けん診を受診したり、自分の生活習慣を振り返る機会をもち、自分に合った健康づくりに取り組む必要があります。

健康課題の解決に向けた取組方針・活動状況

自分の健康状態に関心をもち、生活習慣を見直す機会をもつことができるよう、地域の関係者との協働により、健康講座や健康測定を実施したり、特定健診受診率向上に向けた啓発等をすすめています。